

西蒲区区ビジョンまちづくり計画 委員意見及び担当課の考え方一覧

No	ページ	委員意見	担当課	担当課の考え方
1	P3~P4	各区のすがたの表について、西蒲区欄は横色線か縦色線を入れて、他区と色別にした方が数字が読みやすいのではないかと。	地域総務課	ご意見の通り、西蒲区部分の色を変更します。
2	P20	◎観光とスポーツ・レクリエーションのまち 「恵まれた自然環境と観光資源」 海拔0mから登れる角田山、山野草の宝庫角田山をもう少しPRする文言が入ってもいいように思います。	産業観光課	ご意見を踏まえ、下記の通り修正します。 「○西蒲区は、国定公園に指定されている4つの海水浴場を有する越後七浦海岸、海拔0mから登れるコースもある角田山や、多宝山をはじめ、広大な越後平野など、豊かな自然に恵まれています。」
3	P21	「角田山(夜景)」とのキャプションがあるが、「弥彦山」ではないかと。	地域総務課 産業観光課	該当写真のキャプションを下記の通り修正します。 「ハザ木と水田」
4	P36	ごみについての記述で、なぜ西蒲区のごみ排出量が多いか述べるべきである。高齢者で分別を行っていないことや、農業のごみが多いことなどが考えられるが、それに対する対策も行っているはずなので、それも記載したほうが良い。	区民生活課	ごみ・資源組成調査を循環社会推進課で実施していますが、西蒲区のごみの量が多い明確な原因が特定できないため、対策を示すことができない状況です。
5	P36	西蒲区は、ごみ排出量が全市で一番多く、また、下水道の普及率がワースト1とのデータがある。 文面に「河川や排水路への生活排水の流出による悪臭や害虫の発生が課題」と記載されており、見る人が見ると、西蒲区は、ごみが多く、汚水を垂れ流している環境にやさしくない区であると感じられる。 それが、西蒲区への移住とかの妨げになるのではと考える。 ①「河川や排水路への生活排水の流出による悪臭や害虫の発生が課題」←削除し、もっと別の言い方にかえれないか ② 下水道の普及のグラフがあるが、これは下水道だけのデータか？ 西蒲区は、下水道が引けない地域があり、その代わりとして合併浄化槽の設置が推進されている 汚水全体の普及率として考えるのなら、下水道+合併浄化槽などの普及率をデータ化するべきでは	区民生活課	ご意見を踏まえ、下記の通り修正します。 ①「○西蒲区では、下水道や合併処理浄化槽など汚水処理施設の普及率が低く、河川などへの影響が懸念されます。」 ②下水道普及率のデータから、汚水処理人口普及率のデータに変更しました。
6	P42	生涯学習に関して、具体的な方策を記載したほうが良い。全年齢にかかわるため、魅力のアピールにもなると思う。	巻地区公民館	施策の方向性の中で「○家庭教育、高齢者学級など、各種生涯学習講座の開催」と記載しているため、修正なしとします。さらに具体的な事業については、実施計画で記載する予定です。
7	P44	「地域のリーダーや助言を行うコーディネーターなどの育成も重要です。」とあるが、現状実施している取り組みを記載できないかと。	健康福祉課	ここでは、福祉活動の推進のための課題として「地域のリーダー、コーディネーターの育成が重要」ということを指摘している部分であり、個別具体的な取り組みは、実施計画の中で記載することとしています。
8	P45	45ページの方針2「高齢者や障がい者の社会参加の推進」のリード文のなかに「地域共生社会」という文言を入れた方が良いと思う。 施策の方向性になかに、「権利擁護の推進」があっても良いと思う。	健康福祉課	「地域共生社会」については、文言を追加します。 「権利擁護の推進」については、施策の方向性2つ目「地域包括支援センターによる総合的な高齢者支援の実施」や3つ目「重層的支援体制の構築」に包含されており、個別の記載は難しいと考えます。

9	P46	46ページの「あなたもひとり。協働のまちづくり」における「持続可能な地域づくり」のところで、「福祉教育」の視点も加味したらと思う。	地域総務課 健康福祉課 教育支援センター	「福祉教育」の視点は非常に重要な視点であるが、「持続可能な地域づくり」のためには、福祉分野のみならず、あらゆる分野における「地域力向上」と「協働」が必要であることを記載していることから、特定分野にかかる記載は難しいと考えます。
10	P49	性的少数者への支援についての記載があってもよいのではないかと。	地域総務課	ご意見を踏まえ、下記の通り文言を追加します。 「○性別、年齢、障がいの有無、国籍、出身、性的指向、性自認、価値観などにかかわらず、あらゆる人の人権が尊重されるよう啓発に努めます。」
11	-	下半面空が有り写真か文章があった方が紙面上バランスがとれるのではないだろうか。	地域総務課	構成上余白が出ますが、文章量・写真の掲載量のバランスを鑑み修正なしとします。
12	-	●西蒲区道の駅新設を ・地元の野菜、果物の販売 ・地物の地酒(日本酒・ワイン・ビール等)販売 ・地元の漁港で捕れた魚の販売 ・区内にある史跡、資料館の紹介、案内(まちあるき等) ・地元の宿泊施設の紹介(岩室温泉等) ・角田山登山のよさの紹介	建設課 産業観光課	「道の駅」新設の予定は今のところありませんが、新潟市岩室観光施設「いわむろや」では、西蒲区の観光や歴史・文化等の情報を提供・宣伝しています。併せて地域の農産物等を販売するなど区内の情報提供拠点施設として設置されています。多様な施設や情報媒体を活用しながら情報発信に取り組んでいきます。
13	-	P16売れるものづくりとして越王おけさ柿、いちじく「越の雫」があげられていますが、旧中之口村を中心としたブドウの生産も加えられてもいいのではないのでしょうか。 その視点で ・P5におけさ柿、越の雫に並んでシャインマスカットなどのブドウの写真を掲載 ・P11(6)産業 柿・イチジク・ブドウをはじめとする果樹 ・P16売れるものづくり 越の雫・ブドウのシャインマスカットなどに代表される ※西蒲ブランドという言葉にこだわると少々押しは弱くなるのですが、是非検討してみたいと思いますか。 果樹の売り上げの3番手くらいにはあると思いますし、生産農家を応援する意味からもお願いできればと思います。	産業観光課	新潟市食と花の銘産品として指定され、西蒲区内が主な産地となっている「越王おけさ柿」やいちじく「越の雫」などの品目をあげることにします。
14	-	病院や買い物など目的別のマイクロ交通を検討し、区ビジョンに追加してはどうか。 ・西蒲区独自の公共交通があればよい。 ・トクトクやマイクロバスを活用してはどうか。 ・医者やスーパーなど目的別の交通網を整備してほしい。 ・バスやタクシーと連携してほしい。 ・巻駅を発着として漆山や角田につながる交通網を整備してほしい。 ・南区では乗り合わせなど検討しているため、西蒲区でも検討してはどうか。	地域総務課	通学・通勤や病院、スーパーなど目的に合わせて、安心して快適に移動できるよう公共交通などの利便性の向上を図っていく必要があります。トクトクなど具体的な手段については、今後、交通事業者や地域などと検討する際に参考にさせていただきます。